

紀宝の 珍百景

見つけた！
その55

100年振りに発見された新種の桜

クマノザクラ



写真：森林総合研究所提供

今回の珍百景は、昨年桜の野生種としては約100年ぶりに新種として認定されたクマノザクラをご紹介します。

クマノザクラは、学名を *Cerasus kumanoensis* 「ケラサキ」といい、バラ科サクラ属の樹木で、紀伊半島南部の奈良県、三重県、和歌山県に分布し、この地域の山間部などではごく普通に見られるものです。

これまでは早咲きのヤマザクラとして認識されていましたが、森林総合研究所の勝木俊雄氏が平成28年春から、調査をはじめたところ、固有の特徴を多く持つことが判明したため、既存種の突然変異などではなく、新種と結論づけ、熊野地方にちなみ「クマノザクラ」と命名されました。

ソメイヨシノのように人工交配などで生まれた栽培品種は多くありますが、国内に分布する野生種はこれまで9種しか確認されておらず、1915年のオオシマザクラ以来の10種目の新種となります。

鮮やかなピンク色の花が美しいクマノザクラは、ヤマザクラよりも早く咲くこと、花序に2個の花がつき、花柄が無毛、葉が細長くて小さいといった特徴があります。

まちのわだいのコーナーでもご紹介しましたが、NPO法人・熊野さくららの会では、クマノザクラ150本の植樹を行いました。こうした活動を続けていただき、一足早く春の訪れを告げてくれるクマノザクラの名所として、全国から多くの方が訪れるようになれば素敵ですね。

ひろば

三重県広報コンクール (町部)で特選を受賞!!

平成30年1月から12月までに発行された広報紙を審査する「平成30年三重県広報コンクール」の審査が先日行われ、京城跡の特集などを掲載した「広報きほう12月号」が広報紙部門(町部)で特選を受賞しました。

また、広報きほう12月号の表紙が一枚写真の部で入選、広報きほう9月号2〜3ページが組み写真の部で入選となりました。

これもひとえに、取材やインタビューを引き受けていただいた方々をはじめ、さまざまな情報の提供やご意見をいただいた方々などなど、広報に関わっていただいたみなさんのおかげです。本当にありがとうございました。

特選となった同広報紙は三重県代表として、全国広報コンクールに進みます。これからもみなさんに楽しんでいただける広報紙を目指し、がんばってまいりますので、応援よろしくをお願いします。

(広報のネタ、随時募集中！ 愛野裕基)
(もっちゃん広報2年生。少しは成長した!? 田中健太郎)



組み写真の部入選の広報9月号



一枚写真の部入選の広報12月号



広報の部(町部)特選の広報12月号



広報担当
田中けんじ



広報担当
愛野ゆき